

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 12 日作成)

委員会名	RC 基礎部材の構造性能検討小委員会	主 査 名：井上 芳生														
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)	委員長名：西川 孝夫 主 査 名：林 静雄														
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2007 年 3 月															
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>全ての建築物に共通な鉄筋コンクリート造基礎部材（基礎梁、基礎スラブ、杭）の構造性能を明らかにし、性能設計体系関連指針類への反映を図ることを目的とする。</p> <p>初年度：既往文献の収集及び検討 2 年度：課題の抽出・検討 3 年度：外力と応力算定手法並び強度式等の検討 4 年度：報告書の作成</p>															
委員構成 (委員名(所属))	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">井上 芳生(都市基盤整備公団)</td> <td style="width: 50%;">和泉 信之(戸田建設)</td> </tr> <tr> <td>香取 慶一(東京工業大学)</td> <td>飯場 正紀(国土交通省)</td> </tr> <tr> <td>梅村 美孝(安藤建設)</td> <td>壁谷澤 寿海(東京大学)</td> </tr> <tr> <td>倉本 洋(豊橋技術科学大学)</td> <td>許斐 信三(日本設計)</td> </tr> <tr> <td>小林 勝己(フジタ)</td> <td>勅使川原正臣(名古屋大学)</td> </tr> <tr> <td>津田 和明(大林組)</td> <td>林 静雄(東京工業大学)</td> </tr> <tr> <td>二木 幹夫(ベターリビング)</td> <td></td> </tr> </table>		井上 芳生(都市基盤整備公団)	和泉 信之(戸田建設)	香取 慶一(東京工業大学)	飯場 正紀(国土交通省)	梅村 美孝(安藤建設)	壁谷澤 寿海(東京大学)	倉本 洋(豊橋技術科学大学)	許斐 信三(日本設計)	小林 勝己(フジタ)	勅使川原正臣(名古屋大学)	津田 和明(大林組)	林 静雄(東京工業大学)	二木 幹夫(ベターリビング)	
井上 芳生(都市基盤整備公団)	和泉 信之(戸田建設)															
香取 慶一(東京工業大学)	飯場 正紀(国土交通省)															
梅村 美孝(安藤建設)	壁谷澤 寿海(東京大学)															
倉本 洋(豊橋技術科学大学)	許斐 信三(日本設計)															
小林 勝己(フジタ)	勅使川原正臣(名古屋大学)															
津田 和明(大林組)	林 静雄(東京工業大学)															
二木 幹夫(ベターリビング)																
設置 WG (WG 名：目的)	<p>クライテリア WG：鉄筋コンクリート基礎部材に生ずる外力と応力の算定手法（相互作用を含む）及び設計クライテリアに関する検討</p> <p>構造性能検討 WG：鉄筋コンクリート造基礎部材（基礎梁、基礎スラブ杭）の耐力・変形性能並びに大断面部材の耐力・変形性能に及ぼす寸法効果に関する検討</p>															
2003 年度予算	5 0 0 , 0 0 0 円															

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>小委員会：3 回（延べ、27 名）</p> <p>クライテリア WG：5 回（延べ、41 名）</p> <p>構造性能検討 WG：5 回（延べ、35 名）</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>(成果の具体的内容)</p> <p style="padding-left: 20px;">相互作用を考慮した地下階及び基礎構造の設計用地震層せん断力の算定に関する文献収集及び整理</p> <p style="padding-left: 20px;">RC 系杭の強度・変形性能に関する実験データの収集及びデータベース作成のためのフォーマット作成</p> <p style="padding-left: 20px;">RC 系杭のモデル化に関する資料収集とモデル化の妥当性検証</p> <p style="padding-left: 20px;">大断面基礎部材の寸法効果に関するデータの収集及び整理</p> <p>(成果の価値) : 小委員会の目的達成のための基礎的な資料集・検討実施報告書完成により技術的価値を有する。</p> <p>(公開の有無) : 無</p> <p>委員会 HP アドレス:</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>小委員会初年度の活動計画に照らし、概ね目標が達成されたものとする。</p>
その他評価すべき事項	